

わかば

92号

元の日常生活に戻るように

ワカバ会 会長 三輪田 真 (三田22-6)



新型コロナウイルス感染が3年半を過ぎ、いったんは収束に近づいた第6波でしたが、感染力の強い新型株が広がって第7波では過去最大の感染者数を数えました。今後も感染が収束してまた次の波が来ることの繰り返しになりそうです。ワクチン接種と治療薬の開発が進みつつありますが、一方で社会生活を取り戻すために行動制限を解除する方針が出され、重症者の増加や医療体制の危機を最小限にしていこうWith Coronaの時代になりました。私たちは適応していくしかありません。

ワカバ会においても感染対策を前提に活動しております。今年度の総会は過去2年と同様に書面開催とし、会員の皆様に会報とともに議案書をお送りし、議決権行使書または委任状により議決に参加いただいたうえで、6月13日に役員の出席を得て開催しました。母校で皆様に集まっていたのが本来の形ですので、3年続けて書面開催の総会になり、懇親会も開催できないのはたいへん残念です。それでも、今年度の出席者(議決権行使書または委任状を含む)は490名に達し、ワカバ会運営について多くの会員の皆様に関心を持っていただくことができ、感謝申し上げます。

今年度の活動のうち、見学会等の企画行事については、感染状況により中止や変更となったものもありますが、今後の企画行事についても、感染対策に万全を期して、できるだけ開催できるよう計画していきたいと思っております。

現役の生徒を支援する奨学金制度もワカバ会の大事な取り組みです。今年度は従来の丸山記念奨学金に加え、桂葉奨学金を新たに開始しました。これにより、経済的に厳しい生徒を支援するだけでなく、夢の実現に向けてチャレンジするグループや個人も応援していきたいと思っております。

まだいろいろと制約がある中ではありますが、ワカバ会では同窓の皆様の交流の場を提供できるよう活動を続けております。引き続き皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。これから徐々に元のような日常生活が戻り、皆様にお集まりいただける日が来ることを期待しております。

主体性と協働性

ワカバ会 名誉会長 原田 能成
三田 高校 校長



令和3年度末、英語教育推進校とSociety5.0に向けた学習方法研究校の指定事業が無事終了しました。これらの指定事業で、生徒の英語によるコミュニケーション能力が著しく向上させるとともに、ICTを活用した協働学習や探究学習等の学習方法の研究などの実践も行い、新しい学び方についても一定の成果を収めることができたことと自負しております。

さて、主体性とは、工夫すること、協働性とは、話し合うことであるといってもいいと考えています。今、時代に求められているのは、工夫したり、話し合ったりすること、ではないでしょうか。試練は人の成長にとって必要なものです。コロナ禍という試練は、工夫したり、話し合ったりするいい機会であると、前向きに考えています。今年の体育祭は久しぶりに外部会場を借り、全校生徒で開催することとしました。感染症対策を講じ、種目の実施形態を工夫し生徒からは、とても楽しく、思い出に残る行事であったなどと多くの感想が寄せられました。今後も、白珠祭や合唱コンクールなども予定されていますが、できることを見つけ、思い出に残る行事にしていきたいと考えています。

今年度からはGlobal Education Network 20として3年間、TOKYO教育DX推進校として2年間、東京都教育委員会から指定を受けました。これらの取組を活用して、主体的に学び続ける態度と総合的な英語力の育成や、統合型学習支援サービス等のログデータを活用したエビデンスベースの指導に関する実践的な研究を行い、生徒の希望する進路実現へと邁進してまいります。

※この原稿は8月にご執筆いただきました。

2023年度総会について

新型コロナウイルス感染状況の見通しがつかないため、現時点では来年度の総会およびホームカミングについては未定です。ご了承ください。



2022年度 一般社団法人ワカバ会総会報告



副会長 平山 孔嗣 (三田29-2)

2022年度総会も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で書面総会となりました。今回も会員の皆様のご協力により、議案は賛成多数にて承認されました。

3月24日開催の理事会で、今年度も、通常の総会を開催できる状況にはないと判断し、書面での総会開催を決定いたしました。

各種準備及び皆様のご理解をいただくため、開催日を6月13日と定め、会報春号を1ヶ月遅らせ、書面総会の周知を図りました。

3年続けての書面総会となり、会員の皆様と親しく集う機会が無くなってしまふことを非常に残念に思っております。書面の準備、会報春号への委任状、議決権行使書の封入、発送等と事務局の頑張りにより、お陰様で、所定6月13日14時までに議決権行使書201名、委任状268名、当日役員、事務局17名、リモート参加役員4名、合計490名の総会出席となり、総会が成立しました。定刻より所定の議事がなされ、賛成多数にて無事終了できたことは冒頭の通りであり、皆様のご理解に深く感謝申し上げます。

今後も新感染症拡大の影響で、多くの行事予定が中止または変更となるかも知れませんが、工夫してできるだけ開催したいと思います。

会員の皆様にはご自愛され、来年には笑顔で集うことができますようご祈念申し上げます。

ワカバ会丸山記念奨学金、10名に給付

一般社団法人ワカバ会の主要な公益事業である、三田高校在校生へのワカバ会丸山記念奨学金給付は、6月の理事会で2022年度の奨学生10名を決定しました。7月に半年分(6万円)を本人に手渡しました。今年は15名の応募者があり、選考委員会では、本人の応募理由、担任の先生の推薦文を審査、選考委員各自が採点して全体の高得点者から選ぶ方式を採用。その結果、1年生6名、2年生2名、3年生2名の計10名を奨学生に選びました。今年もワカバ会会員から、奨学金用に指定された寄付が寄せられたため、当初予算より2名多い10名に給付できることになりました。

夢サポート 桂葉奨学金 初給付!

第5代校長百田次朗先生ご遺族様寄附「桂葉奨学金」が、記念すべき第一回の今年度は1団体及び個人1名に給付されました。

初めての制度の為、給付決定されるまでには紆余曲折がありましたが、学校側のご協力も得て、吹奏楽部に対しての楽器購入費と受験支援目的の生徒にそれぞれ決定することができました。

願書には志願者各位の熱い気持ちが込められており、奨学金運営の責任を痛感しました。

初めての募集の為、志願者がやや少なかったのが残念でしたが、在校生、三田高校への貢献をする為にも「桂葉奨学金」の周知を図り多くの方に応募頂けるように努力します。

奨学生には、成果報告をいただくことになっておりますので、今後、会報にて掲載できると考えております。

第21回 ワカバ会観劇会 「新春浅草歌舞伎」 のご案内

期 日 : 2023年1月20日(金) 15時開演
場 所 : 浅草公会堂
演 目 : 未定
出 演 : 尾上松也 他
会 費 : ワカバ会特別価格 7,200円(一等席)
*通常価格一等席 9,500円
*感染症対策として、客席での飲食禁止のため、お弁当はつきません
申込締切 : 11月30日(水)
ご注意 : 締切日後のキャンセルはお受けできません
感染状況により中止、変更になる場合がございます

行事に参加して



©東宝演劇部

ミュージカル「ミス サイゴン」

三田 30-5 茂住 実佳子 (藤野)

会報でふと目に留まり、初めて申し込みました。公演当日は第7波の真っ只中。休演や出演者変更が続き、当日まで、どうなるかと心配しましたが、メインキャストの変更も無く無事に観る事が出来ました。ヒロイン役の高畑さんの、優しく美しい歌声と気迫あふれる演技に引き込まれ、感動と涙でした。市村さんの、年齢を感じさせない歌声とキレのあるダンス、ユーモア溢れる演技、細身のスタイルは、舞台上で存在感抜群です。舞台装置も迫力があり、出演者皆さんの全力での演技に、コロナ禍をひととき忘れて、舞台の世界に入り込みました。未だその余韻が続いています。出演者もお席も良く、このような感動の企画をご用意して下さったワカバ会に感謝の気持ちでいっぱいです。

(2022年8月5日実施)



ランチ会場 明治記念館にて

第4回歴史を巡る旅～四谷タウン歴史散策

三田22-5 手塚 陽子 (深澤)

四谷と聞けば鯛焼「わかば」位しか知らなくてどんな出会いがあるか期待して参加しました。駅降りて新宿通りの街路樹ユリノキの大きさに歴史を感じ、旧御所トンネルの単線を今でも総武線下りが使用しているのは驚きでした。主に裏道を進みましたがアップダウンが多く、坂の名も妙を得たものでした。服部半蔵の墓や家康嫡男信康供養塔がある西念寺では家康公より拝領された損壊しても現在258cmの檜や床の間の黒柿・欄間を見学し、鬼平の長谷川平蔵供養塔のある戒行寺へ。植栽も立派でした。

次に「三十六歌仙」ゆかりの須賀神社、脇の急石段はTVの撮影場所とか。そして役者が参拝するというお岩稲荷田宮神社は通りを挟んで2か所ありました。お天気には恵まれませんでしたが、当地に詳しい世話役さんに感謝です。

(2022年9月2日実施)

ルートヴィヒ美術館展

三田24-5 堤 眞知子 (堀口)

賑やかな六本木の大通りから少し入った所に国立新美術館がありました。黒川紀章設計の美術館としては最後のもので、ゆるやかな美しい曲線の外観が青空に映えていました。内部も明るく、ゆったりとした空間の素晴らしい建築でした。

作品はドイツのルートヴィヒ夫妻など市民コレクターたちが激動の20世紀を守り抜き、ケルン市に寄贈したものから現代までの絵画、彫刻、写真、ポスター、映像等々150点程ありました。映像の中でルートヴィヒ氏が1つ1つの作品を吟味評価して収集した事を語っていました。所要時間2時間弱程でゆっくりゆつたりと鑑賞した至福の時間でした。

逢坂館長*からお話を伺ったり、思いがけない再会もあったり、ワカバ会企画行事ならではの事と思い、感謝しています。

(※逢坂恵理子館長 三田21-5)

(2022年9月16日実施)



右から3番目が筆者



中央が逢坂館長

第19回同窓会ギャラリー

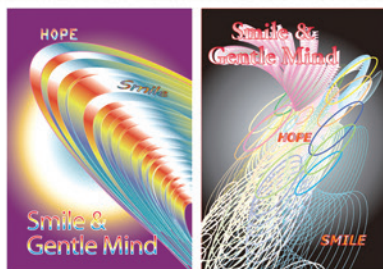
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年同様、今年も同窓会ギャラリーは9月1日から7日まで、ホームページ上での開催となりました。

ワカバ会ホームページ「トップページ」⇒「企画行事」⇒「第19回同窓会ギャラリー」よりアーカイブで閲覧いただけます。皆さんの力作をお楽しみください。

敬称略・順不同



高校19回生 中川（川北）未知子
水墨画
「雀鷹」（20号）



高校12回生 鈴木 茂晴
デジタルアート



高校19回生 目代（友納）美知子
陶芸
左「カレー皿とカップ」
右「バラ柄の花瓶」（H15×D10cm）



高校19回生 渡部（安川）道子
裂け織りバッグ



高校8回生 小粥（安江）和子
シルクスクリーン
左「水面に映える金閣（鹿苑寺）」（20号）
右「嵯峨野愛宕念仏寺にて」（20号）



高校19回生 片山（中山）優子
着物リメイク



高校19回生 小久保（平嶋）照子
組紐



高校32回生 小幡（平田）則子
シャドウボックス
「アントンベック馬車」（W470×H555mm）



高校11回生 成田（牧）芳子
革工芸
「白い花瓶」
（H33.5×W16×D16cm）

高校28回生 遠山（波田野）順子
水墨画

左「愛の芽生え」（H50×W80cm）
右「春の訪れ、愛でてヨシ、食べてヨシ」（H70×W34cm）



高校39回生 瀧澤（小島）直美
カルトナージュ
飾り棚 W21×D10×H20.5cm
小物入れ W15×D10×H6.5cm

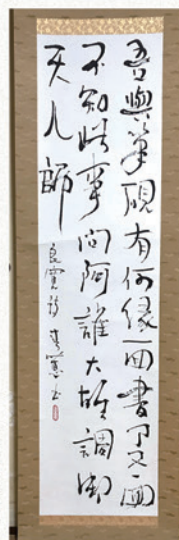


高校37回生 渡辺 恵
建築模型
左「曲線のところに苦心」（D10×W10.5×H9cm）
右「三世代住んでも大丈夫」（D18.5×W16×H17cm）



高校26回生 田澤（吉村）恵子
シャドウボックス
「暮れゆく運河」（H49.5×W90×D10cm）

良寛の詩
吾と筆硯有何縁
一回書了又一回
不知此事問阿誰
大雄調御人天師



高校42回生 児玉 章子
書（W45×H140）

ワカバの輪

節目の演奏会を終えて

三田 34-2 河西 格

三田フィルハーモニーオーケストラの第30回記念定期演奏会が、5月29日に練馬文化センターにて無事開催されました。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令により2020年は練習できずに中止、2021年は演奏会前日にホールより使用中止の連絡があり、涙をのみました。お客様を迎えての演奏会は3年ぶりでした。

第1回演奏会を行った1992年から30年の月日が流れ、子育てが一段落して復帰してくる者、子供が成長し親子で参加する者がいてアットホームなオーケストラになりました。結成当時は小編成の交響曲を演奏することがやっとなでしたが、節目となった今回、ラフマニノフ交響曲第2番といったロマン派の大作にも挑戦できるようになりました。今後もいろいろな曲に挑戦して三田にしかできないサウンドを紡ぎながら、40回、50回と続けていきたいものです。



©Takashi Fujimoto

91号の「Infomation」でもお伝えしましたが、平原弘美さん(三田33-7)が代表を務める平原バレエスタジオの発表会と三田フィルハーモニーオーケストラのコラボレーションが実現しました！まさに「ワカバの輪」です。今後もこのような「輪」が広がることを期待しています。



三田フィル、平原バレエスタジオと共演

三田43-6 森本 麻未(山田)

三田フィルハーモニーオーケストラは、8月20日(土)、昭和女子大学人見記念講堂にて、平原バレエスタジオ第13回発表会で共演させていただきました。代表の平原(三芳)弘美さん(三田33-7)より、スタジオ創設20周年の記念に「長年の夢、オーケストラ演奏で生徒を踊らせてあげたい」とのご依頼で、三田フィルにとっても初めてのバレエとの共演となり、「サウンド・オブ・ミュージック」と「ラデツキー行進曲」をオーケストラピットで演奏してきました。当日は、平原さんの還暦のお誕生日と伺い、当団団長の発案で「ハッピーバースデー」をオーケストラ演奏するサプライズを舞台監督さんのご協力のもとに企画、平原さんは「この感動はこれから先の人生の生きる糧になりそう」と大感激のご様子、私もワカバ会を通じてのご縁に幸せを感じた1日でした。

オケメンバーには、普段は別団体でご活躍の平野千明さん(三田36-3)、井口拓郎さん(三田43-2)も久しぶりに参加、同窓会気分も味わえました。

この経験を活かし、ますますの発展を目指してまいります。

感謝を込めて

三田33-7 平原 弘美(三芳)

春のワカバ会々報でお知らせさせて頂いた三田フィルハーモニーオーケストラと私のバレエスタジオの共演の舞台が8月20日に無事に幕を降ろしました。総勢65人の踊りと三田フィルの奏でる素晴らしい演奏をマエストロの福田夏絵先生が見事に繋げて下さり感動するほどの作品となりました。

昨年の夏にワカバ会を通して三田フィルの皆様に打診をし、ご快諾頂いてから約1年をかけて準備リハーサルして参りました。

私がオーケストラで生徒達を踊らせたいという夢が現実になり終演後は心も身体も震えました。今はご協力下さった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

前号のお知らせを読んで頂き三田のOGOBの方が沢山いらして下さいました。ありがとうございました。

卒業して40年以上も経ってからこんなに母校を誇りに思える事に幸せを感じております。

ありがとうございました。

祝! 人間国宝認定へ!

「義太夫節三味線」の鶴澤津賀寿さん (本名:立花繭子さん 三田28-1)



2022年7月22日、素晴らしいニュースが舞い込みました。

文化庁の文化審議会が末松文部科学大臣に答申した5名の人間国宝(伝統的な芸能分野で高い技術を持つ重要無形文化財の保持者)の中のお一人が、三田高校卒業生、義太夫節三味線の鶴澤津賀寿さんだったのです。

今回までに人間国宝に認定された方はわずか110名。立花さんはその中に名を連ねられることになりました。

同窓生としてとても誇らしいです。立花繭子さん、おめでとうございます。

女流義太夫

三田28-1 立花 繭子

義太夫節は、邦楽の一ジャンルです。

現在「文楽」として上演されている人形浄瑠璃のストーリーテラーの音楽として発達して来ました。人形浄瑠璃で好評を博した演目は歌舞伎にも輸入され、義太夫狂言として別個に発達して来ました。

「文楽」「歌舞伎」両者とも男性のみで演技、演奏をするため、女性だけが集まって演奏したのが、女流義太夫です。基本的には、演奏のみで舞台を構成します。

私個人は、子どもの頃から歌舞伎が好きでしたが、義太夫狂言は嫌いでした。音大進学、大学受験、大学院進学、などに挫折し、大学卒業後偶然聞いた、現在の師匠、竹本駒之助の舞台に驚き、女流義太夫の存在に驚き、アマチュアとして稽古していただくうち、人手不足の折もあってプロになり、今に至っています。人生は挫折と偶然の連続だなあ、と思います。



新入会員入会方法 電子化へ

ワカバ会新入会員の入会申し込みは長らく紙の申込書に記入していただく方式でしたが、来年春の卒業生から、インターネット上のフォーム(Googleフォーム)を用いた電子申し込みに切り替えることとなりました。入会案内のチラシに二次元バーコードを印刷し、これをスマートフォンなどで読み取ることで、簡単に申込フォームにアクセスすることができます。

昨今は卒業生の入会率が低下傾向にあり、サステナブルな同窓会運営のためにも、入会のハードルを少しでも下げる方策が必要になっています。また、申し込み情報が電子化されることにより、名簿管理システムへの登録など事務作業の軽減も期待できます。

これを第一弾として、会員の皆様の利益となるよう、今後も継続してワカバ会の電子化に取り組んでいく方針です。ご期待ください。

維持会費納入ご協力をお願い

◆下記のいずれかの方法で納入をお願いいたします。(振込手数料はご負担をお願いします)

1.宛名用紙の払込取扱票を切り離して、郵便局で払込みをお願いします。

2.銀行振込 銀行振込口座 口座名義「一般社団法人ワカバ会」

以下のいずれかの銀行口座にお振り込みください。その際、**振込依頼人名の先頭に会員番号をつけていただきますようお願いいたします。**

みずほ銀行	芝支店	普通	4736868
三井住友銀行	三田通支店	普通	7158979
三菱UFJ銀行	田町支店	普通	4538524
ゆうちょ銀行	〇一九店 (ゼロイチキョウ)	当座	0081170

**2022年9月30日までに
2022年度分の納入を
確認できた方には
今回、振込用紙は同封しておりません。**





特集

同窓生は今

2022

諏訪貴子さん(三田42-7)

2017年、NHKで「マチ工場のオンナ」という連続ドラマが放映されました。町工場を経営する父が急逝し、経験も準備もない32歳の専業主婦だった娘が2代目社長として奮闘し、数々の困難を乗り越え会社を再建していく実話をもとにしたドラマです。

その原作「町工場の娘」の著者が三田高校の卒業生でした。42回生の諏訪貴子さんです。ここ数年の元気のない日常に何かヒントをいただけるのではないかと、諏訪貴子さんにインタビューさせていただきました。(新型コロナウイルス感染状況を鑑みてリモートインタビューといたしました。)

のびのび過ごした高校時代

—諏訪さんの時代の受験制度は学校群制度とは違い、志望する高校をピンポイントで受験できましたが、三田高を選んだ理由を教えてください。

公立志望でした。

日比谷にするか悩んだんですが、女子は三田高が都立で1番でしたし、第六高女からの歴史もある高校だったので、三田高を選びました。

—高校時代はどのように過ごされましたか？

三田高に入って、みんなのレベルの高さに驚きました。中学時代はそれほど勉強しなくてもそこそこの成績はとれたのですが、改めて「勉強しなくちゃ」と思いました。

部活はアメフト部のマネージャーをしていました。ルールを理解するところから始めなければいけませんでした。先輩方がよくして下さり、本当に充実した高校時代を送れました。合間に茶道部に遊びに行ったり…。

人生でどの時代に帰りたかと言われたら「高校時代」と答えます。自由な校風の中に1本筋がある三田高校でいじめもなく、仲間に恵まれるのびのび過ごせました。

後悔する点があるとすれば、もっと勉強すればよかったかな(笑)。

—高校時代にはどのような道に進もうと思われてましたか？

デザイナーにもなりたと思ってました。実際、服飾系の大学も受験したのですが父が許してくれませんでした。理系クラスだったので(国語ができない、という理由で(笑))、工学部に進みました。父から工学部でないとお金は出さない、と言われてました。

跡継ぎになるだろうお兄様をわずか6歳で亡くされ、そのあと誕生した諏訪さんをお父様は跡継ぎとして意識して育てられていたそうです。幼いころから会社と呼ばれたり、取引先に連れていかれ、諏訪さん自身も「兄の生まれ変わりの人生」と受け止め、成長されました。

—大学時代ではすでに家業を継ぐことを意識されていたのですか？

いえいえ、全く考えていませんでした。

父も口にしませんでした。お互い、あえて触れないようにして

いたような気がします。

工学部への進学は父の希望でもありましたが、「兄だったらどうするか」ということを常に考えていました。兄の代わりとして生きていくことに特に反発は感じていませんでした。

突然の社長就任

大学卒業後は企業に就職し、結婚、出産。専業主婦としてご主人のアメリカ赴任同行の準備をしている矢先、晴天の霹靂が起こります。

お父様が余命4日の宣告を受け、急逝。会社存続の危機に直面です。

会社はだれかに任せアメリカに行くか、自分が会社を継ぐか、葛藤の末、2代目社長就任を決意されました。

—突然の社長就任を決意されるまでにかんがりの葛藤があったと思いますが…。

色々な方に相談しました。でも、誰もアドバイスをくれなかったんです。それだけ重要なことだったんですね。

思えば今まで自分で道を決めて進んできたことがなかったんです。人生初、自分できめなくてはいけない局面を迎えていました。そこで一番に考えたのは「自分の後悔しない道を選択する」「今、すべきこと、できることをやる」ということ。主人と一緒にアメリカに行きたかったのですが、アメリカにはいつでも行ける。社長業は数年後にやりたいと思ってもらえる状況であるとは限らない。社長になるのは今だけ!という気持ちで決意しました。

—社長就任後は、経営のこのみならず、対社会においてもご苦労があったのではないですか？

それはもう、最悪でした(笑)。「2代目、娘、潰れるぞ」「親の七光り」とか「女だからって」と面と向かって言われたこともたくさんありました。社内改革では社員からの大反発もありました。そんな時、シェイクスピアの「世の中には幸せも不幸もない。考え方次第だ」という一節が心に響いたんです。「大変だ」とか「苦労だ」と思うのはあくまでも自分の指標だ。自分の考え方次第でとらえ方が変わる、と気づいたんです。それからはネガティブは排除。批判する人と同じ目線になったら負け、と思えるようになり前向きに行動できるようになりました。「大きくなれ!強くなれ!」と自分に言い聞かせました。もと

もとはおとなしい性格なんです(笑)。でも人は変わる、というか、仕事の時はモード切替スイッチを入れてやっています。3年間の会社立て直し計画が成功したあとは、父の遺志である「中小企業の活性化」を大義として講演会活動も行いました。それが本の出版、ドラマ化につながりました。

—家庭と仕事の両立はいかがでしたか？

大変ではありましたが、「子供は強い」と思いました。小さな息子が私の働く姿を見て「僕がお母さんを守る。お母さんは仕事をしているんだからさみしくない」と言ってくれました。反抗期もなく自立心旺盛に育ってくれました。その分、何かの時は子供1番でいるように心がけました。自分が父にもらったように愛情を注ぎ、危機的状況の時は寄り添って必ず助ける。実際、不登校になりかけたときは学校にも出向きました。愛情は時間の長さではなく、深さだと思っています。

—コロナの影響はありましたか？

影響はありましたが、2008年のリーマンショックの時のほうが大変でした。オーナー企業で20年社長を続けてこれたことでリーマンショックを乗り切った経験が役に立ちました。その時に感じたのは、知識が財産なのではなく、スキルが財産だということです。知識を広めることでチャレンジする機会を得ることができます。チャレンジすることによってスキルを身に着けることができます。興味があったらすぐにやってみることです。心理カウンセラーの資格をとったり、プログラミングも勉強しました。国の会議にも呼んでいただき参加を躊躇することもありましたが、委員会へ参加することで知識が深まり、スキルにつながっています。勉強させていただいています。

チャンスは逃さず、常にチャレンジ

—お忙しい諏訪さんですが、気分転換は？

クラシックバレエです。でも趣味もストイックに極めたくなくなっちゃうんです(笑) 自分の努力が足りずに自分に負けるのが嫌なんです。他人の成功はその人の努力の結果なので素直に素晴らしいと思えます。

諏訪貴子さん プロフィール

1990年三田高校卒。1995年成蹊大学工学部卒。

2004年、父の逝去を機に32歳で社長に就任。2011年から経済産業省・産業構造審議会の委員を務める。2012年12月6日、日経ウーマン主催の「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013大賞(リーダー部門)」を受賞。2018年日本郵便取締役。2022年日本郵政取締役へ。

2013年、内閣府「国・行政のあり方に関する懇談会」の委員を務めた。2021年には、内閣官房「新しい資本主義実現本部」の有識者となった。

著書:『町工場の娘』～主婦から社長になった2代目の10年戦争～
『ザ・町工場』～「女将」がつくる最強の職人集団～

—諏訪さんが人として心がけていることは？

好奇心と自分に負けたくない気持ちは常にあります。降ってきたチャンスを逃さず引き受け、責任を果たすために勉強します。背伸びをしながら少しずつ成長できたらいいな。

—経営者として心がけていることは？

自分が元気であること。今できることを、笑顔で頑張ること。うちの会社は笑顔が絶えません。社員さんがしっかりしてくれているんです。みんなに助けられています。

—女性としては？

最初はパンツスーツを着たり、男性社会に溶けこむ努力もしましたが、考えを変えました。女性としての自分の個性を生かして自分なりの経営、生き方をしていきたいです。

—今後の目標は？

目標は決めません。しばらくはたたくないんです。今、ここにある現状で頑張り、チャンスを得てやったその先に自分の目標があると思っています。

—最後に一言お願いします

人生は1度、やりたいことはチャレンジしてほしい。知識を広めてスキルアップ、キャリアアップすることは自分の強みになると思ってほしい。

インタビューを終えて

“会社再建に成功した2代目女社長”のイメージを持って臨んだインタビューでしたが、リモート画面でお話される諏訪さんは芯がありながらもおっとりした雰囲気、知的でユーモアあるとても魅力的な女性でした。また、周囲を元気にする力のある方でした。

諏訪さんを一言で表現するなら「THE 三田」。好奇心がありチャレンジ意欲旺盛な第六高女から培われた三田高校の精神が受け継がれていると感じました。

インタビューを終えて、「幸運の女神には、前髪しかない」という言葉を思い出しました。勇気をもってチャンスをつかむためにも、知識を広めていく大切さを教えていただきました。ありがとうございました。





90オスイマーを目指して!

三田 4-6 吉永 喜美子 (伊藤)



ワカバ会の歴史上、私達程、変化の多い6年間を送った学年はないでしょう。私の場合、小学6年で敗戦になり、牛込区(現・新宿区)は全焼、小学校

も廃校になりました。疎開先の村の先生が第六高女への願書を作成しました。牛込区職員は「受験は1校だけ、合格したら東京への転入を認める。不合格だったら村へ帰るしかない。」と言いました。でも奇跡的に合格し、転入を許されました。入学式の写真では皆、私服です。三田高2年で初めて男女共学の下級生を迎えました。物資不足でしたが夏だけプールも利用出来ました。水泳は私の老後に役立ちました。50才で水泳教室に入り、60才からマスターズ水泳大会(年令別競泳)に出場し、10ヶ国の世界大会に参加しました。今も週5回、近くのプールで楽しく泳ぎ、快食、快眠の生活です。

水辺の愉しみ

三田 24-3 大山 美穂 (永井)

思い起せば、この水辺に親しんで早や30年。それは主人の事業である“ヘラ鮒管理釣り場”と、“ゴルフ練習場”のお手伝いから始まったことでした。そして思いがけず5年前に主人を亡くして、今度は図らずも自身の務め、ライフワークの場となりました。

釣り場は椎の木湖と呼ばれ、自動検量器付き釣座400席余り。ダイワ、シマノなどメーカー主催の大会も催されます。ゴルフ練習場は池に打ち込むユニークな形式で、300m先までのドライバーショットが楽しめます。どちらも489本の椎の木に囲まれた池で営まれています。

水中の世界に思いを巡らせて一途な人々と、限界に挑んで体をふる捻転させる人々を見つめながら、元気付けられ、背中を押されて、私は今日もまた、この水辺で過ごしています。

“置かれた場所で咲きなさい”を胸に…。



写真① つり処 椎の木湖
TEL: 048-565-4133
HP: www.shiinokiko.jp/



写真② 水上ゴルフセンター
TEL: 048-565-3254
HP: www.suijo-golf.com

①②共通 〒348-0011 埼玉県羽生市三田ヶ谷平島2551-1
FAX 048-565-0390

老人の手習い

三田 14-3 松尾 功一

高校を卒業して還暦を迎えました。と言うことは年齢も80歳近くになっています。従って悠々自適の生活、と思いきや現実は厳しく老骨に鞭を打って会社を経営しています。

そんな中でも日頃の人生を楽しむ事と老化防止のため、ピアノとハーブを習い、若い女性の先生を相手に社交ダンスを楽しみ、嚥下機能の低下を防ぐためボイス・トレーニングを行っています。

最近、ハーブの発表会では日本の古民謡のさくら桜を演奏し、ピアノ発表会ではベートベン・ピアノソナタ、月光第一楽章を弾きました。



デジタルとアナログのはざまで生きる

三田 34-5 服部 きりこ (福井)



卒業して40年以上が過ぎ、来年還暦を迎えます。昭和・平成・令和と3つの時代を跨ぎ、アナログ世代は今の変化のスピードについていくのが大変。2人の娘の子育ても終わり、私自身は40歳から学び始めた心身の整体を仕事にし、遅咲きの人生を送っています。

ここ数年のパンデミックで、人と人が直接触れ合う機会も減り、その分オンラインで人とつながることも増えました。世界が一瞬で繋がれて便利な反面、アナログ世代の私は物さびしさを感じてしまいます。住まいの近くに「築地」があります。時々、対話して人の手から買う懐かしさと楽しさを味わいたくて、場外市場まで出かけたりします。デジタルもアナログも選べる時代を楽しみつつ、「ああ、この人生楽しかった!」と心から思えるよう、心身をめいっぱいはたらかせたいです。



三田を旅立ち30年後

三田 44-3 高橋 大輔



ようやくコロナも落ち着き、先日三田フィルハーモニーオーケストラ第30回記念定期演奏会(三田高管弦楽部が設立基盤)を拝聴してきた。壇上では、何人もの創立当初からのメンバーが輝かしく活躍していた。改めて音楽の素晴らしさと、過ぎ去りし懐かしき日々を思い出させてもらった。1年に数度も触れないヴァイオリンに申し訳なくも思えた。そんな私はもう15年ほど前、長野市に5年ほど住み、自然、食、温泉、そしてドライブの素晴らしさを教えてもらった。コロナ禍も関東近郊を楽しんできた。今、一人娘は高校2年生。見てみると、あの色んな想いをした青春の日々が蘇る。ああ来年は受験か。この夏休みは久しぶりに北海道をドライブ。きっとこの「私の近況」を読む頃には、旅行もしばらくはお預けだねと懐かしんでいるのであろう。

友達15周年は、どこいく？

三田 64-6 菅野 詠実

大学を卒業して新卒入社した旅行会社から去年転職。現在は三田で学んだ英語を活かし海外駐在者の多い職場で働いています。三田高で得たものといえば英語だけではなく、何よりも一生の友。卒業後も定期的に集まる吹奏楽部のメンバーとは、3年前の夏に友達十周年記念としてハワイ旅行へも行きました。卒業して10年が経った今でもグループラインで誕生日を祝ったり、悩み相談をしたり、今日〇〇駅に三田校の制服の子いたよ!と報告したり。ここ数年では結婚、引っ越し、ワーホリで海外へ…などコロナ禍であってもそれぞれの決意とともに新たな道を歩み出した人もいます。私もその例外ではありませんが、生活環境に変化が起きても「皆がいるから大丈夫!」と思えるたくましい存在を今後もずっと大切にしたいです。



右下が筆者



心に贅沢を

三田 54-1 河村 恵 (ハチ)

私は、宿泊予約サイト一休.comを運営する株式会社一休でチーフデザイナーとして働いています。全社のデザインの方向性を決めたり、UI/UXデザイナーとしてサイトの使いやすさ見やすさの改善、ユーザーに愛され続けるプロダクトの開発を行なっています。勤続10年以上ですが、今でも私にとって一休は憧れの存在です。眺めているだけで心が贅沢になるような美しい見せ方の追求をこれからも行い、憧れの存在であり続けるよう邁進します。

プライベートでは10歳8歳の姉妹の母。長女は少年野球チームで日々汗を流し、次女は児童劇団に所属し細々と芸能活動を行なっています。そしてこの冬第3子を出産予定です。初めての男の子育児ということで、今からとても楽しみです。



三田高校での経験を胸に

三田 74-1 久保 凜々子



三田高校で過ごした3年間は間違いなく私にとって大きな財産です。日々の生活に加え、ダンス部の活動、行事や受験勉強など、全ての時間に学びがあり成長の糧となりました。ワカバ会の支援のおかげで、伸び伸びとした学生生活を過ごせたこと、誠に感謝しております。

現在私は早稲田大学教育学部英語英文学科で学んでいます。元々国際教育に興味があり三田高校を選んだ私は、英語英文学科の授業にも大変満足しています。主に英米文学作品を、批評理論を通して分析し、ジェンダーなど現代の問題と絡めて学んでいて、日々新たな発見の連続です。

サークルは、ダンスサークルとファッション系の出版サークルに所属しています。

コロナによって制限のある中でも、三田高校で培った経験を生かして、自分のやりたいことは見失わないよう日々精進していきたいです。

◆初夢チャリティーコンサート

新年をウイーンの音楽を堪能して幕開けする素敵なコンサートが続けて23年目を迎えました。今回も素敵なゲストをお迎えして開催いたします。どうぞご期待ください。

日 時／2023年1月14日(土)

会 場／大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線・下丸子駅・歩1分)

開 演／18時30分 (開場 18時)

演 奏／東京ユニバーサル・

フィルハーモニー管弦楽団

指 揮／松岡 究

問合せ／田 中 節 子(宗近)(三田10-5)

電話 03-3761-0980

ゲスト／オクサーナ・ステパニウク

ウクライナの歌姫

国立ウクライナ・チャイコフスキー音楽院を
首席で卒業

数々の世界国際音楽コンクールで優勝

ローマ法王に招かれて御前演奏

藤原歌劇団オペラ公演

椿姫・リゴレット・夕鶴 主役

現在 藤原歌劇団 正団員

オクサーナさんはウクライナのキーウ出身でご両親はキーウの近郊に逃れて大変苦しい生活をしていらっしゃるそうです。少しでもウクライナの方たちの支援になればと願っております。

◆三田フィルハーモニーオーケストラ 第31回定期演奏会

日 時／2023年5月28日(日)昼公演

会 場／府中の森芸術劇場どりーむホール

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/1000160/1000175.html>

指 揮／後藤悠仁

(指揮者・ヴァイオリン奏者、日本フィルハーモニー交響楽団常務理事)

曲 目／ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」他

◆書籍紹介

書籍名 いのちの授業—未来の宝物・子どもへ—

著 者 小粥 和子(安江)(三田8-6)

発 行 文芸社

定 価 1,200円+税

この本は教師として子どもたちと接してきた経験から生まれたノンフィクション・ストーリーのほか、未来の子どもたちに、日本人が育んできた「感動する心」を伝えるための話をまとめたものです。

小粥 和子(安江)(三田8-6)

◆新刊紹介

書籍名 マルタの風

著 者 滝山 正治

発 行 弘報印刷出版センター

定 価 2,000円+税

コロナ禍のステイホーム中に執筆上梓した3作合本。1作目は、交通事故死した教え子と大名家姫君の、輪廻転生を描いた『艶陽院殿碑文』。2作目は、長年葛藤し続けた生徒問題を題材にした『スクールカウンセリング「こころの闇」』。3作目は、70歳にして語学留学したマルタ共和国の歴史・文化・観光の魅力体験記。

滝山 正治 (三田高校非常勤講師)

2021年度 理事会報告

第1回 (2021.4.22 15:00~16:00)

2020年度決算及び事業報告について、2021年度総会(書面)について、第5代校長百田先生のご息女からの高額寄付運用について、会報発送方法変更について、名簿サーバー環境機材保守サービス延長およびバッテリー交換について

第2回 (2021.6.15 14:30~15:05)

2021年度総会報告、名簿サーバー環境機材保守サービス延長およびバッテリー交換について、2021年度奨学生決定者10名、奨学金用高額寄付の運用方法について

第3回 (2021.9.9 15:00~16:10)

高額寄付運用方法について、新入会員入会金未納者の対応について

第4回 (2021.11.18 15:00~16:30)

桂葉奨学金の運用方法および募集要項について、新入会員入会申込書の電子化および名簿データベース入力の電子化検討について

第5回 (2022.1.20 15:00~16:00)

2022年度総会開催方法および日程について、2022年度奨学金(丸山・桂葉)について、新入会員入会申込書の電子化および名簿データベース入力の電子化検討について

第6回 (2022.3.24 15:00~16:30)

2022年度予算および事業計画について、桂葉奨学金募集要項・願書について、来年度新入会員(75回生)入会システムの構築について

学校だより

三田高校 副校長 澁谷 徹

このたび伝統ある東京都立三田高等学校に着任しました副校長の澁谷徹です。よろしくお願いします。上野高校から異動してまいりました。

ワカバ会様におかれましては日頃より学校経営に際して多大なる御支援を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。各種奨学金のご案内と援助に励まされた生徒は多く、自分の可能性を広げる機会をいただき感謝申し上げます。

さて、コロナの話ばかりで明るい話題提供ができない2年間でしたが、今年度は春の校外学習や体育祭、夏季休業中の語学宿泊研修をなんとか実施してまいりました。行事や部活動も計画と事前準備を繰り返し、慎重に少しずつ進めてまいりました。それに伴い徐々にではありますが生徒の活動は活発化しており、何事もなかった頃の学校生活を取り戻しつつあります。お陰様をもちまして9月10・11日の白珠祭も実施できました。人数制限のある開催で保護者や中学生の観覧は控えていただきましたが、学年を超えての3年振りの取組はとても見ごたえのある発表となりました。各団体ともに工夫と叡智を持ち寄り、その充実ぶりはそれぞれの顔つきから感じることができました。

これからもしばらくは制限付きの学校生活が続きます。が、与えられた条件内での工夫と努力をもって乗り越えていく所存です。引き続きの御支援・御協力をお願い申し上げます。

委員会報告

総務委員会

- ①本年度もワカバ会総会は、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、集会による総会は行わず書面による総会に変更し、懇親会は中止しました。6月13日に委任状・議決権行使書および役員によるリモート総会をワカバ会事務室内にて開催し、無事終了しました。
- ②今年度も丸山記念奨学生を募集し、選考委員会において協議の上決定しました。
- ③今年度より桂葉奨学金の運営を開始しました。奨学生の募集をし、選考委員会において協議の上決定しました。
- ④2017年9月よりトランクルーム事業者へ大田区鷺の木の土地(旧駐車場)を賃貸しています。

委員長 鈴木美智子 (9-3)
内堀りえ子 (24-1)
西上原節子 (24-5)
平山 孔嗣 (29-2)
青山 真司 (30-3)
市来陽一郎 (39-4)
鈴木 俊 (47-3)

広報委員会

広報誌わかば第91、92号を発行しました。企画行事につきましては、中止や変更の可能性もあります。予めご了承ください。詳細はワカバ会ホームページ、または事務局で確認できます。

委員長 田中 浩 (32-5)
横山あさひ (58-7)

IT委員会

IT委員会では、ワカバ会の情報システム全般を担当しています。皆様の名簿は、インターネット等外部ネットワークから物理的に隔離されたコンピュータシステムで管理されており、外部からの不正アクセスによる情報漏えいを防止しています。
7月に老朽化した名簿用サーバをリプレイス(更新)いたしました。

委員長 小針 淳 (40-3)
田中 浩 (32-5)
外ノ池祐太 (45-1)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の財務会計業務全般を担当しております。日頃、維持会費の納入に際しましては格別のご協力いただき感謝申し上げます。

2万名からのワカバ会会員の皆様への広報、親睦、公益活動及び丸山記念奨学金、桂葉奨学金をはじめとする三田高校への貢献等の財政基礎として、皆様からの維持会費、新入会員からの入会金は土地賃貸収入と共に柱となっております。維持会費の納入方法につきまして、郵便振替と銀行振込を併用する方法に変更させていただきまして利便性を図りました。振込手数料を会員の皆様のご負担とさせていただきます。一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

経費を一段と節約しつつ効率的な運営、ITを活用した新しい会員のための事業を充実させ、ワカバ会発足以来の「卒業生は母校とともに発展する」を実現できる会務を遂行するため努力いたします。一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長 平山 孔嗣 (29-2)
片山 優子 (19-2)
上田みつ子 (28-5)

企画委員会

企画委員会では毎年多様な行事を企画・実施しており、お蔭様で幅広い層の会員の方から大変好評をいただいておりますが、昨年に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とされた企画もありました。実施の行事についても一部内容の変更もございます。

来年度は皆様にお楽しみいただける状況になっていることを祈念いたします

- 1) 第20回ワカバ会観劇会 ミュージカル「ミス・サイゴン」2022年8月5日(金)
 - 2) 第19回同窓会ギャラリー HP上での開催 2022年9月1日(木)～9月7日(水)
 - 3) 第4回歴史を巡る旅～四谷タウン歴史散策 2022年9月2日(金)
 - 4) 第2回国立新美術館観覧 2022年9月16日(金)
 - 5) 第8回東京駅と東京ステーションホテル見学会 2022年9月30日(金)
 - 6) 第39回親睦ゴルフ会 2022年10月13日(木)
 - 7) 第5回東海道を歩こう(東戸塚～藤沢) 2022年11月18日(金)実施予定
 - 8) 第5回迎賓館赤坂離宮見学会 2022年12月2日(金)実施予定
 - 9) 第21回ワカバ会観劇会「新春浅草歌舞伎」 2023年1月20日(金)実施予定
 - 10) 第9回オペラ鑑賞会 藤原歌劇団公演「トスカ」 2023年1月28日(土)実施予定
 - 11) 第5回ちよだ芸術祭グランドフィナーレ 2023年2月26日(日)実施予定
 - 12) 第22回ワカバ会観劇会 劇団四季「美女と野獣」 2023年3月18日(土)実施予定
- 尚、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した行事は下記の通りです。
- ・第29回健康麻雀大会
 - ・第13回筑波宇宙センター見学会
 - ・第5回「羽田クロノゲートとJAL工場」見学会
 - ・第6回日本銀行・東証Arrows・貨幣博物館見学会
- 委員長 中村左都子 (7-2)
星川 孝宜 (25-4)
志田 雄啓 (46-1)

2022年度収支予算
自2021年4月1日～至2022年3月31日

2022年3月31日（単位：円）

科 目	2021年度予算額	2021年度決算額	2022年度予算額
収入の部			
1.財産運用収入			
財産利息収入	10,000	1,570	10,000
2.会費・入会金収入			
入会金収入	950,000	980,000	950,000
維持会費収入	7,000,000	7,072,000	7,000,000
3.事業収入			0
総会費収入	0	0	0
商品売上収入	120,000	69,803	120,000
土地賃貸収入	7,440,000	8,412,807	8,184,000
4.寄付金収入			
寄付金収入	10,000,000	10,573,385	0
5.雑収入			
雑 収 入	0	54,739	0
6.繰入金収入			
公益目的支出準備金繰入金収入	2,000,000	0	2,500,000
当期収入合計 (A)	27,520,000	27,164,304	18,764,000
前期繰越収支差額	1,717,314	1,717,314	3,536,129
収入合計 (B)	29,237,314	28,881,618	22,300,129
支出の部			
1.事業費			
総会費	200,000	89,417	200,000
会報発行費	5,500,000	5,582,468	5,500,000
行事費	100,000	75,701	100,000
記念事業費	140,000	114,372	140,000
商品企画費	200,000	0	200,000
奨学金支出	960,000	1,200,000	1,460,000
土地賃貸直接事業費	2,400,000	2,381,690	2,400,000
給与手当	3,150,000	2,775,527	3,150,000
旅費交通費	84,000	15,400	84,000
通勤費	420,000	331,814	420,000
消耗品費	91,000	107,463	91,000
通信運搬費	168,000	155,989	168,000
印刷製本費	28,000	13,583	28,000
会費徴収費	350,000	25,764	350,000
情報管理費	350,000	464,801	770,000
会議費	140,000	8,332	140,000
光熱費	56,000	50,978	56,000
公租公課	10,000	7,000	10,000
雑費	112,000	163,011	112,000
渉外費	40,000	0	40,000
2.管理費			
給与手当	1,350,000	1,189,512	1,350,000
旅費交通費	36,000	6,600	36,000
通勤費	180,000	142,206	180,000
消耗品費	39,000	46,056	39,000
通信運搬費	72,000	66,852	72,000
印刷製本費	12,000	5,821	12,000
会費徴収費	150,000	11,041	150,000
情報管理費	150,000	199,200	330,000
会議費	60,000	3,571	60,000
光熱費	24,000	21,848	24,000
公租公課	0	3,000	0
雑費	48,000	69,862	48,000
渉外費	0	0	0
3.固定資産取得支出			
什器備品費	100,000	16,610	850,000
4.目的預金積立支出			
記念事業積立金繰入	0	10,000,000	0
5. 予備費支出			
予備費	100,000	0	100,000
当期支出合計 (C)	16,820,000	25,345,489	18,670,000
当期収支差額 (A)-(C)	10,700,000	1,818,815	94,000
当期繰越収支差額(B)-(C)	12,417,314	3,536,129	3,630,129

荒井正賢先生を偲んで

2022年3月25日、荒井正賢先生がご逝去されました。

1977年から1984年まで保健体育の教師として教鞭を執られました。いつも生徒のことを親身になって考えてくださり、「正賢先生、正賢先生」と多くの生徒、卒業生に慕われていらっしゃいました。荒井先生がお書きになる活字のような字が懐かしいです。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



正賢先生の思い出 三田 35-7 滝島 哲郎

40数年前、昼休みの音講横の卓球スペースで、「滝島、勝負しよう!俺に勝ったらかつ丼ご馳走してあげるぞ。」と声をかけられ、「明日の昼飯はかつ丼だ」と意気込むも、「タン・タン・パシ」この頃よく耳にする三球目攻撃に手も足も出ず完敗。「教科書通り!」と響く正賢先生の声。結局卒業までに一度もご馳走していただけなかったことが思い出されます。

ここ数年は、毎年夏に正賢先生のお宅へ遊びに伺わせていただきましたが、7〜8年くらい前に、久しぶりに正賢先生にお会いした時に、「顔と声と普段の動きを観察することで生徒を覚える」との話の中で、「滝島は大きくて入学してすぐに覚えた一人であり、今でも足音で認識できる」と言われ驚くと共に、非常にうれしく照れくさかったことが蘇ります。

「滝島よお」という正賢節がもう聞けないと思うと寂しいかぎりです。

正賢先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

追悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

卒業回・組 逝去年月

旧職	卒業回・組	逝去年月
荒井 正賢	旧職 2022. 3	
<第六>		
保坂 婦美 (若林)	5-オ 1998. 2	
大久保 初美 (大森)	8-イ 2011. 3	
山縣 弥栄 (関川)	10-ウ 2021.11	
山本 美哉子 (内藤)	10-オ 2021.11	
鈴木 鎮 (佐々木)	11-ア 2022. 6	
岩重 多喜子 (阿辻)	11-ウ 2022. 2	
上村 友子 (太田)	12-オ 2022. 4	
太田 千年世 (金子)	14-イ 2019. 2	
溝口 美知子 (幸村)	15-ア 2021. 7	
小林 れい子 (岡村)	15-イ 2021.12	
白田 奈美子 (宋)	15-ウ 2021.12	
深野 幸子 (田中)	15-ウ 2022. 5	
小林 久子	16-イ 2022. 5	
織間 滋子 (高橋)	16-ウ 2022. 3	
栗原 慶子 (大賀)	17-エ 2022. 6	
栗冠 和歌子 (峯崎)	17-オ 2022. 5	
重岡 三重子 (山崎)	18S-ア 2021.12	
佐藤 千栄子	18S-イ 2021.10	
田中 和子 (辻)	18S-イ 2022. 1	

卒業回・組	逝去年月
石山 陽子 (山崎)	18-エ 2022. 3
細田 光子 (佐久間)	19-ウ 2021.12
木村 アサ (新井)	19-エ 2022. 3
竹内 あさ (神吉)	19-エ 2022. 3
数野 あや子 (半井)	19-エ 2022. 5
沖永 良子	20-ア 2022. 1
油科 タキ (浅賀)	20-イ 2021. 4
印東 早百合 (福本)	20-ウ 2022. 4
久米 哲子 (伊藤)	20-エ 2022. 3
松本 富美子 (田中)	21-ア 2022. 4
佐藤 和子 (竹内)	23-5 2022. 4
<三田>	
芝 瑤子 (波島)	2-1 2022. 7
奥泉 喜代子 (小野田)	2-2 2021.12
副島 玉枝 (益川)	2-2 2021.12
小林 陽子 (荒川)	2-3 2022. 7
平野 宗子 (洞沢)	2-3 2021. 3
新山 倫代 (新山八千代)	3-5 2021. 7
森 道子 (稲田)	4-4 2022. 1
広瀬 節子 (丸山)	4-4 2021. 2
伊藤 悠	5-1 2021. 8
荒木 久子 (本多)	5-3 2022. 5

栗原 富枝 (栗原)	6-7 2021. 8
井手 睦恵	7-1 2021. 4
三谷 洋美 (高村)	7-1 2022. 3
大須賀 久子 (長島)	8-5 2022. 2
秋山 芳子 (廣井)	8-5 2022. 1
高橋 元美 (寺本)	9-1 2022. 2
高橋 賀世子 (岩本)	10-6 2021.12
萬代 史子 (寄名)	11-3 2022. 6
向井 美和 (氏家)	11-4 2022. 5
鈴木 和子 (宮内)	11-5 2022. 6
阿部 昭子	12-1 2015. 6
藤澤 伸夫	12-4 不明
釣谷 悦子	12-6 2022. 6
坂東 素美 (富田)	13-1 2020.12
久保 純子 (本間)	13-7 2004. 2
大萱 和枝 (吉野)	14-1 2021.12
北島 英夫	14-5 2022. 8
丸山 純子 (矢島)	15-4 2022. 2
億田 薫	16-4 2020.12
伊東 一光	17-2 2021. 3
熊谷 喜代子 (篠沢)	17-6 2021.12
中里 泰子	22-4 2022. 5
伊藤 玲子 (森田)	22-7 2022. 3
駒野 素乃子 (江藤)	27-1 2022. 3
林 克昌	28-4 2008. 6
森岡 裕子	28-6 2021.12

(9月15日までにご連絡いただいた方を掲載しています。)

91号追悼欄におけるお詫びと訂正

91号追悼欄のおきまして10名の方の情報に誤りがございました。

ご家族の皆様、ご関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。申し訳ございませんでした。

お詫びを申し上げますとともに、正しい情報に訂正いたします。

青字の誤り部分を赤字のように訂正させていただきます。

【誤】

氏名	旧姓	回・組	逝去年月
芝 輝	(海東)	9-ウ	2022.3
池田 高子	(川島)	9-イ	2021.5
澤田 敏子	(山田)	9-ウ	2018.8
師田 光子	—	15-イ	2021.11
福岡 良	(新村)	15-ウ	2021.9
上田 みつ	(栗俣)	15-ウ	2020.7
葉袋 幸	(滝島)	15-オ	2021.10
岩沢 明子	(藤倉)	16-ウ	2021.12
堀 瓊子	(久保田)	16-エ	2018.5
湯浅 淳子	(村井)	16-エ	2021.12

【正】

氏名	旧姓	回・組	逝去年月
芝 輝	(海東)	9-イ	2021.5
池田 高子	(川島)	9-ウ	2018.8
澤田 敏子	(山田)	9-ウ	2022.3
師田 光子	(新村)	15-イ	2021.11
福岡 良	(栗俣)	15-ウ	2021.9
上田 みつ	(滝島)	15-ウ	2020.7
葉袋 幸	(藤倉)	15-オ	2021.10
岩沢 明子	(久保田)	16-ウ	2021.12
堀 瓊子	(村井)	16-エ	2018.5
湯浅 淳子	—	16-エ	2021.12

(敬称略)



三田6F西側窓から臨む
建設中の三田ガーデンヒルズ

建設中の赤羽小学校

変わりゆく
三田界隈

あちこちで再開発が進む東京ですが、三田界隈も例外ではありません。

三田高校の西隣、旧逓信省簡易保険局庁舎跡地には港区最大の敷地面積の共同住宅棟と大学棟からなる三田ガーデンヒルズが建設中です。

田町駅・三田駅からの通学路途中にあった港区立三田図書館も、札の辻交差点前にオープンした札ノ辻スクエア内に移転しました。在学中に図書館を利用され、思い出のある方も多いのではないのでしょうか。

東京タワー近くの虎ノ門地区では日本一の高さとなるビルが2023年3月に竣工予定です。

三田高校の真向かいでは赤羽小学校の新校舎建設中。まもなく完成です。

懐かしい風景が変わってしまうのはちょっと寂しい気もしますが、益々進化する三田界隈も楽しみです。

ご寄付御礼

- 三田25-4 山門靖夫様より 100,000円
- 匿名希望の方より 5件 325,000円

……以上のご寄付をいただきました。

奨学金ならびに会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

事務局だより

- ◆92号の表紙も秋山具義さん(三田37-4)のデザインです。吸いこまれそうな深いブルーの中にグリーンの輝きが美しいです。そこに「三田」の文字が見え隠れしています。お気づきになりましたか。

編集後記

- ♣7月には、諏訪貴子さんのインタビューに立ち会うことができ、元気の出るお話を聴かせていただきました。9月になり、立て続けに7回の台風が発生し、そのうちのいくつかは、日本各地に深刻な被害を与えました。皆様の無事をお祈りするとともに、お見舞いを申し上げます。この先も色々なことがあるでしょうが、元気でいきましょう。(T)

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは、電話・FAX・E-mail にて、事務局まで



★裏返っても元通り!!

耐風折傘

大判65cm・
グラスファイバー骨
各950円

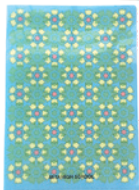
校章ストラップ
(黄色、シルバー、
ブロンズ)
各450円



折りたたみ
トートバッグ
全5色 各800円
(紺色とカーキは在庫なし)
31×37×9cm
(広げるとA4サイズ
も入ります)



たたむと
こんなに
小さくなります



なでしこ
クリアファイル
100円



今治
ハンドタオル
400円(白)



バンダナ 各600円



ミニタオルハンカチ 各400円

青紫 ワイン ピンク からし



タオル
マフラー
各900円

青 紫 桃色 オレンジ



ハローキティ根付
650円
(寄付込1,000円)

3色4芯
ボールペン
200円



ボール
ペン
200円

レターセット
各150円
一筆箋 各100円
クリアファイル
各50円

会報わかば92号



府立第六高等女学校・都立三田高等学校同窓会
一般社団法人ワカバ会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-46

TEL: 03-3451-0227 FAX: 03-3452-4590

時間: 午前10時~午後4時 休日: 金曜・土曜・日曜・祝祭日

E-mail: t-mita@wakaba-kai.org HP: www.wakaba-kai.org/

表紙デザイン / 秋山具義(三田37-4)
紙面構成 / 一色秀司(三田35-3)



◆ワカバ会ホームページ



◆ワカバ会Twitter

ワカバ会

Q 検索